

新潟労働局

平成 29 年 6 月 2 日 (金)

新潟労働局 職業安定部 職業対策課
課長 平田 修一
課長補佐 中村 正美
地方障害者雇用担当官 落合 直樹
(代表電話) 025-288-3508
(夜間電話) 025-288-3543

ハローワークを通じた障害者の就職件数、7年連続で過去最高を更新

平成 28 年度障害者の職業紹介状況等

新潟労働局は、平成 28 年度の障害者への職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

概 況

- 新規求職申込件数は、3,387 件で、対前年度比 153 件、4.7%増加した。障害種別で見ると、身体障害者では前年度と比べて減少したが、知的障害者、精神障害者、その他の障害者では増加した。
- 就職件数は 1,754 件で、対前年度比 87 件、5.2%増加した。知的障害者では前年度と比べて減少したが、身体障害者、精神障害者、その他の障害者では増加した。

	新規求職 申込件数	対前年度(前年度比)	就職 件数	対前年度(前年度比)
身体障害者	955 件	39 件減(3.9%減)	509 件	35 件増(7.4%増)
知的障害者	595 件	51 件増(9.4%増)	355 件	18 件減(4.8%減)
精神障害者	1,540 件	93 件増(6.4%増)	783 件	65 件増(9.1%増)
その他の障害者	297 件	48 件増(19.3%増)	107 件	5 件増(4.9%増)
合 計	3,387 件	153 件増(4.7%増)	1,754 件	87 件増(5.2%増)

- 就職件数を産業別で見ると、「医療・福祉」(452 件)、「製造業」(305 件)、「卸売業・小売業」(295 件)での就職件数が多くなっている。
- 解雇者数は 24 人で、前年度の 23 人と比べ 1 人増加した。

※ 全国の障害者の職業紹介状況については、厚生労働省が本日発表します。
詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

ハローワークにおける障害者の職業紹介状況

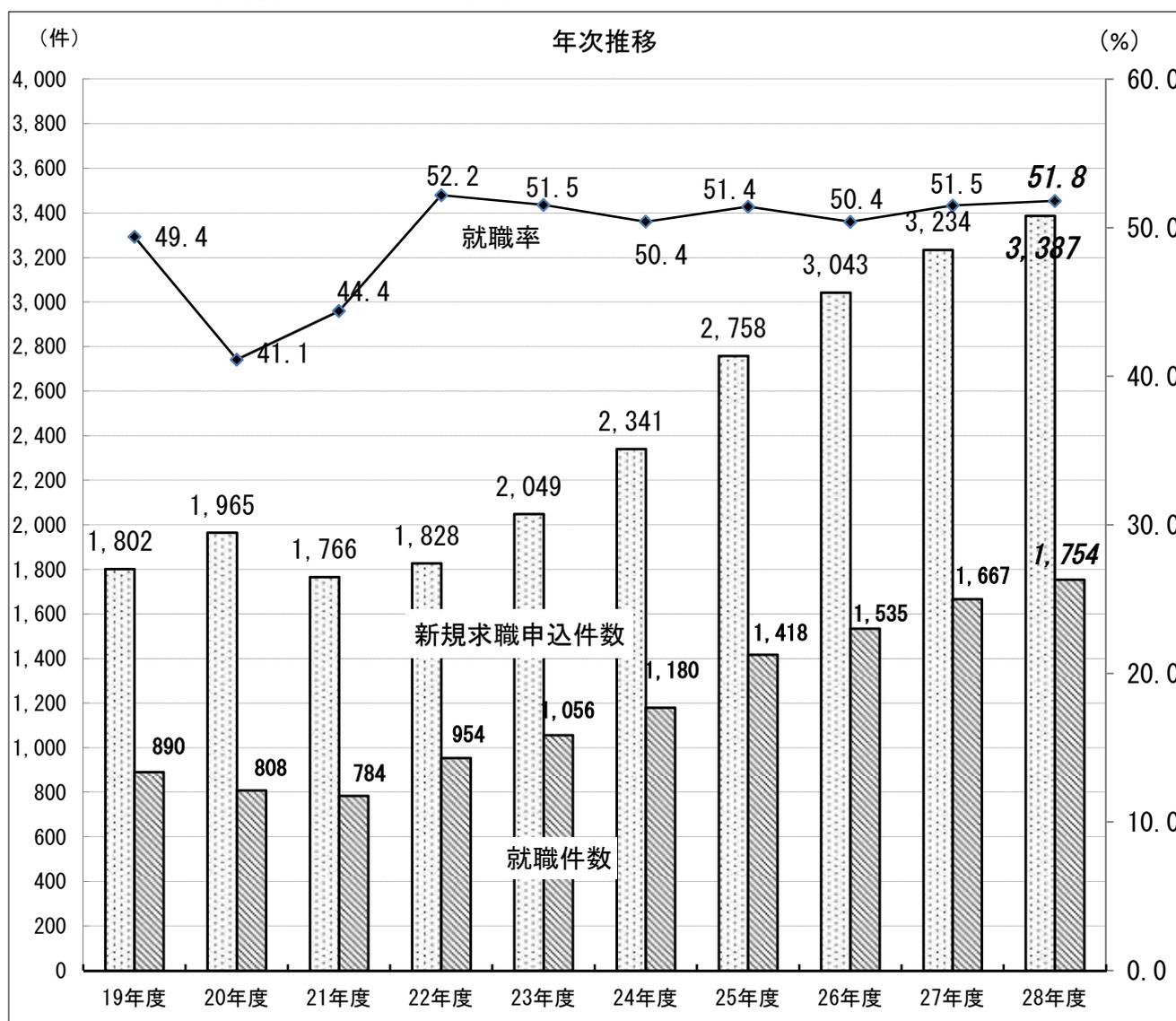
新潟労働局

1. 概況

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率 (③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成19年度	1,802	4.6	2,131	3.6	890	0.2	49.4	△ 2.1
20年度	1,965	9.0	2,317	8.7	808	△ 9.2	41.1	△ 8.3
21年度	1,766	△10.1	2,366	2.1	784	△ 3.0	44.4	3.3
22年度	1,828	3.5	2,471	4.4	954	21.7	52.2	7.8
23年度	2,049	12.1	2,395	△ 3.1	1,056	10.7	51.5	△ 0.7
24年度	2,341	14.3	2,224	△ 7.1	1,180	11.7	50.4	△ 1.1
25年度	2,758	17.8	2,355	5.9	1,418	20.2	51.4	1.0
26年度	3,043	10.3	2,466	4.7	1,535	8.3	50.4	△ 1.0
27年度	3,234	6.3	2,954	19.8	1,667	8.6	51.5	1.1
28年度	3,387	4.7	3,140	6.3	1,754	5.2	51.8	0.3

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)



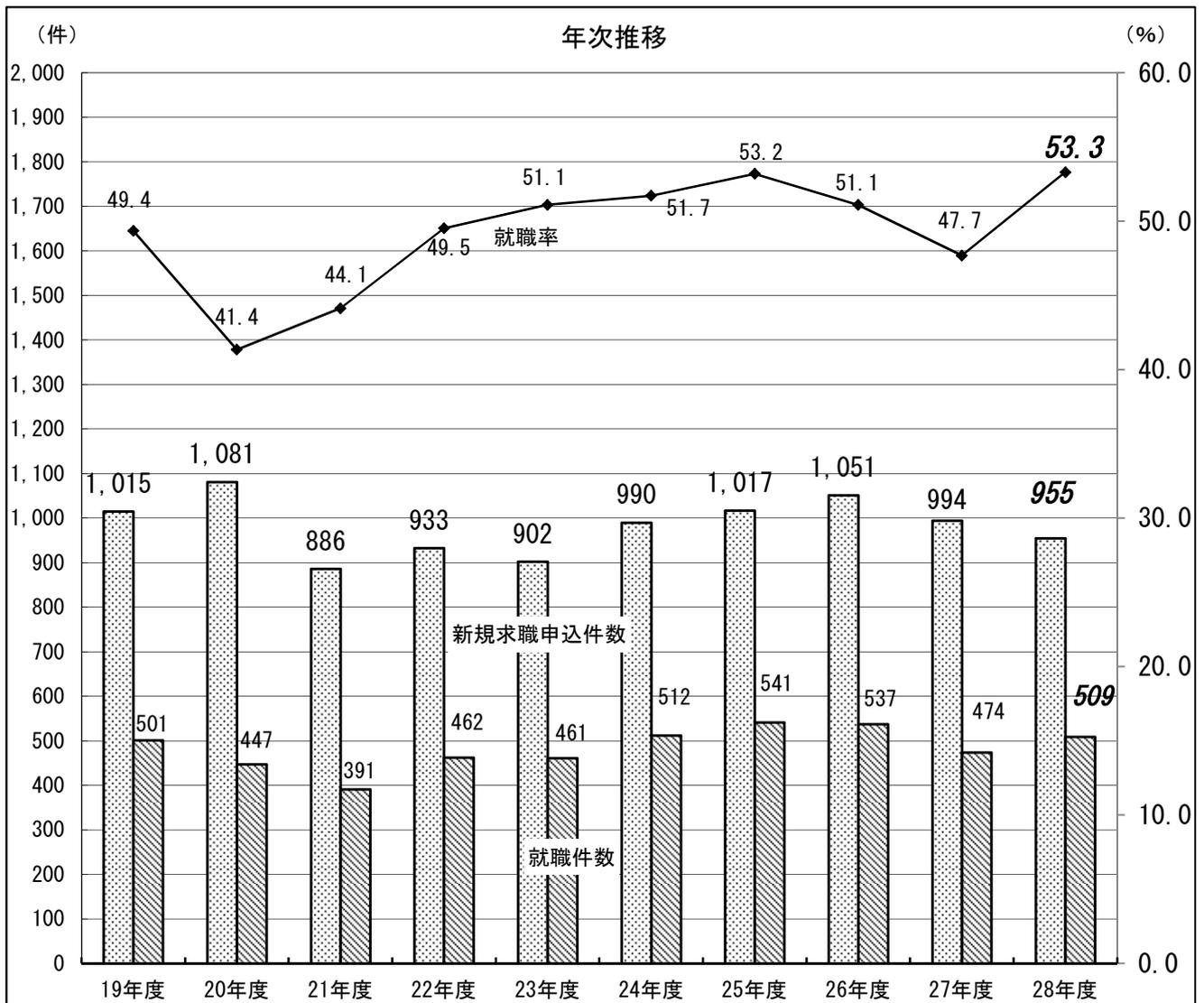
2. 障害種別の職業紹介状況

(1) 身体障害者

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率 (③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成19年度	1,015	2.6	1,124	△ 1.2	501	△ 0.8	49.4	△ 1.7
20年度	1,081	6.5	1,202	6.9	447	△10.8	41.4	△ 8.0
21年度	886	△18.0	1,141	△ 5.1	391	△12.5	44.1	2.7
22年度	933	5.3	1,187	4.0	462	18.2	49.5	5.4
23年度	902	△ 3.3	1,097	△ 7.6	461	△ 0.2	51.1	1.6
24年度	990	9.8	953	△13.1	512	11.1	51.7	0.6
25年度	1,017	2.7	927	△ 2.7	541	5.7	53.2	1.5
26年度	1,051	3.3	906	△ 2.3	537	△ 0.7	51.1	△ 2.1
27年度	994	△ 5.4	1,068	17.9	474	△11.7	47.7	△ 3.4
28年度	955	△ 3.9	1,049	△ 1.8	509	7.4	53.3	5.6

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)

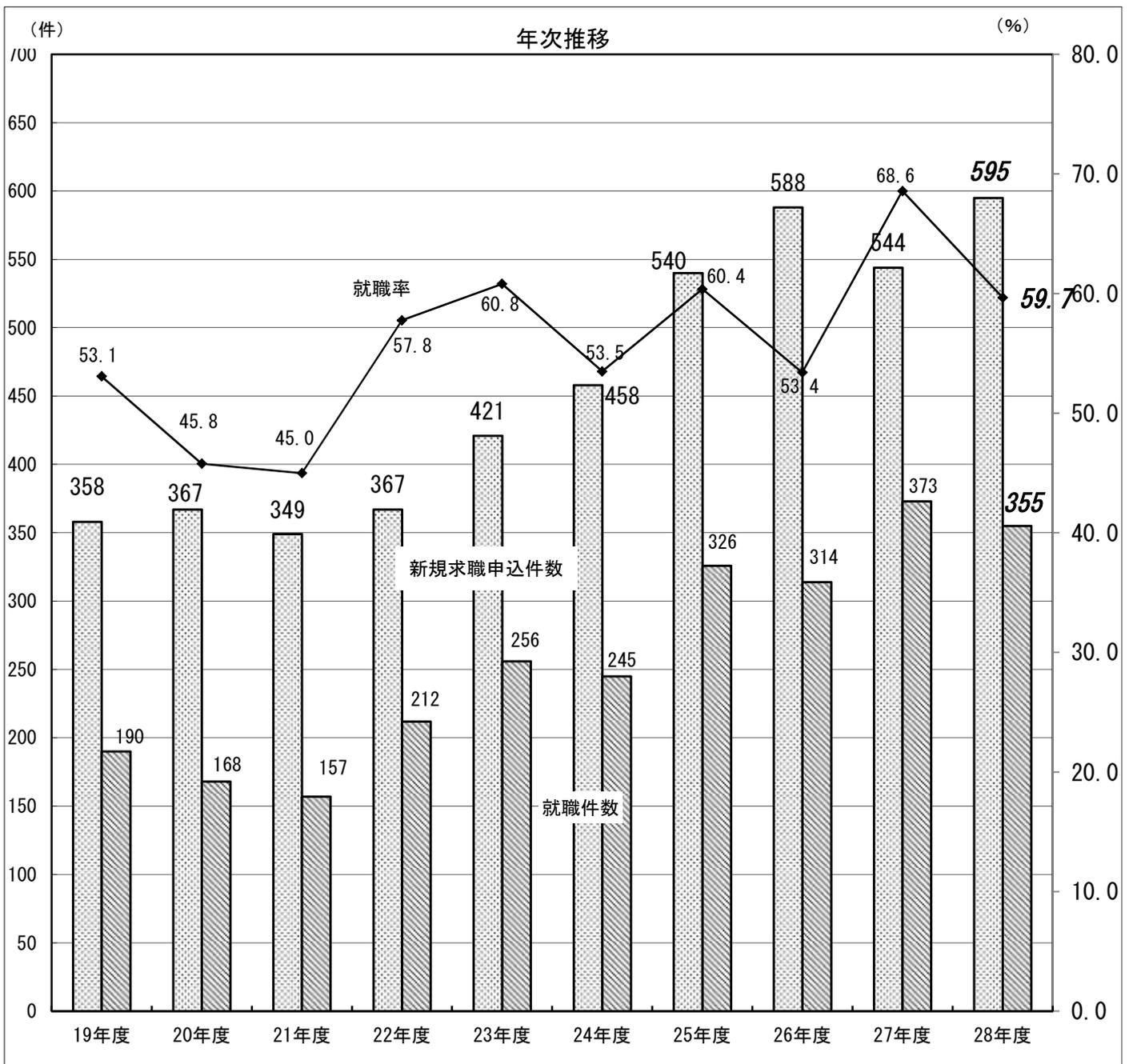


(2) 知的障害者

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率 (③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成19年度	358	7.5	552	7.0	190	6.1	53.1	△ 0.7
20年度	367	2.5	550	△ 0.4	168	△ 11.6	45.8	△ 7.3
21年度	349	△ 4.9	591	7.5	157	△ 6.5	45.0	△ 0.8
22年度	367	5.2	603	2.0	212	35.0	57.8	12.8
23年度	421	14.7	571	△ 5.3	256	20.8	60.8	△ 6.8
24年度	458	8.8	574	0.5	245	△ 4.3	53.5	2.5
25年度	540	17.9	587	2.3	326	33.1	60.4	6.9
26年度	588	8.9	635	8.2	314	△ 3.7	53.4	△ 7.0
27年度	544	△ 7.5	684	7.7	373	18.8	68.6	15.2
28年度	595	9.4	714	4.4	355	△ 4.8	59.7	△ 8.9

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)

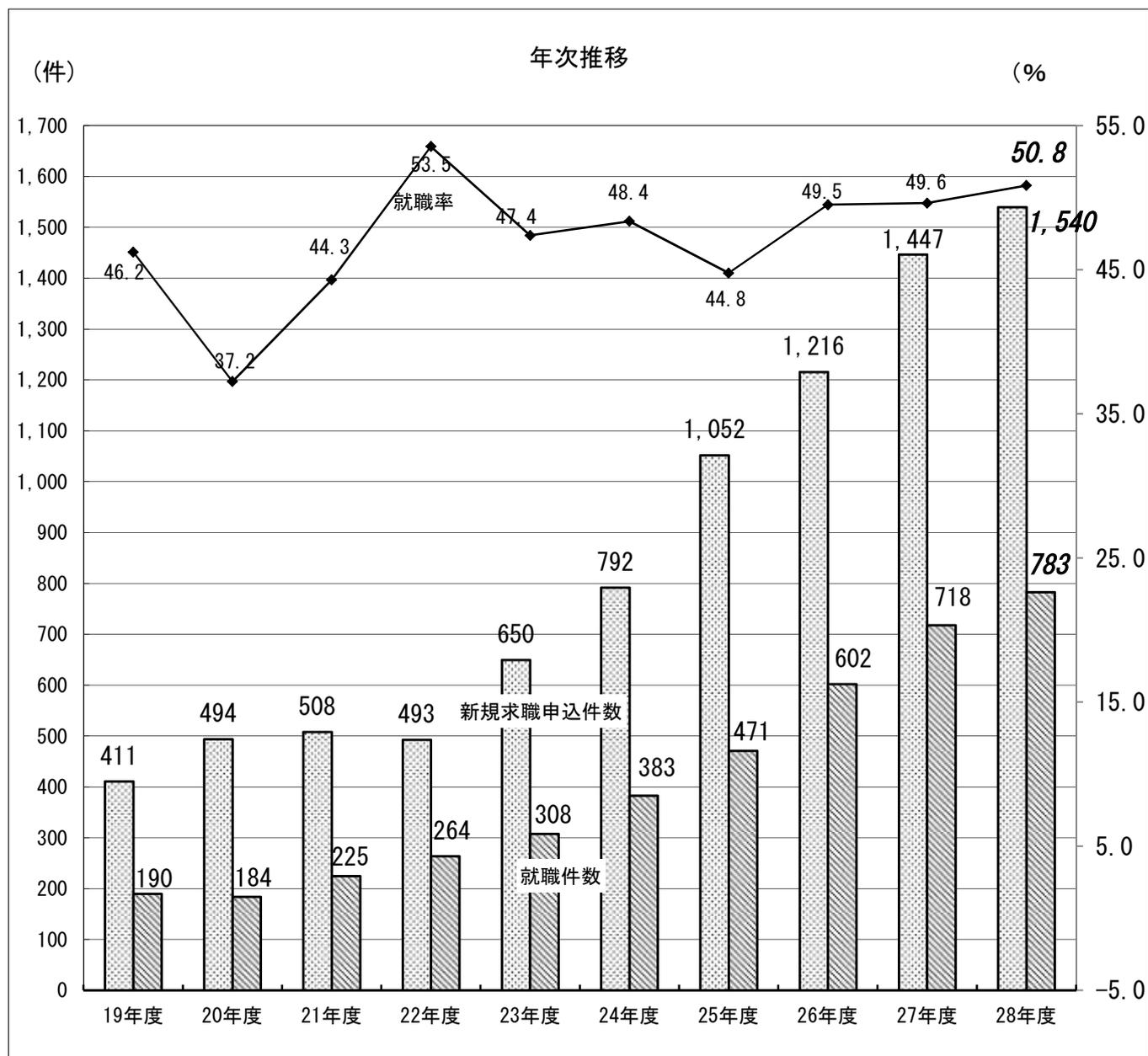


(3) 精神障害者

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率 (③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
19年度	411	7.0	444	12.7	190	△ 5.0	46.2	△ 5.9
20年度	494	20.2	551	24.1	184	△ 3.2	37.2	△ 9.0
21年度	508	2.8	615	11.6	225	22.3	44.3	7.1
22年度	493	△ 3.0	663	7.8	264	17.3	53.5	9.2
23年度	650	31.8	683	3.0	308	16.7	47.4	△ 6.1
24年度	792	21.8	651	△ 4.7	383	24.4	48.4	1.0
25年度	1,052	32.8	769	18.1	471	23.0	44.8	△ 3.6
26年度	1,216	15.6	872	13.4	602	27.8	49.5	4.7
27年度	1,447	19.0	1,122	28.7	718	19.3	49.6	0.1
28年度	1,540	6.4	1,260	12.3	783	9.1	50.8	1.2

(就職件数及び新規求職申込件数の推移)



(4) その他の障害者

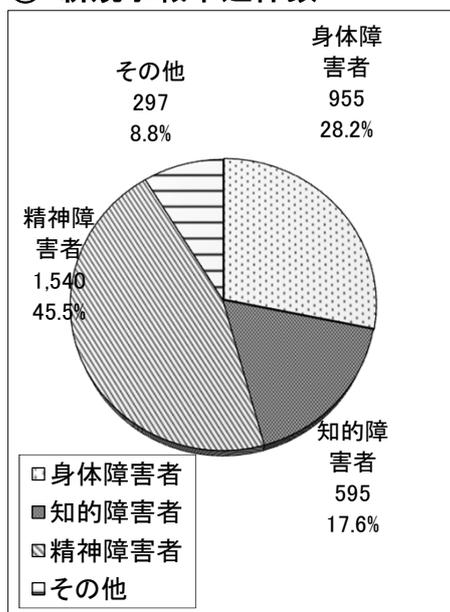
(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率 (③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
平成19年度	18	5.9	11	37.5	9	125.0	50.0	26.5
20年度	23	27.8	14	27.3	9	0.0	39.1	△10.9
21年度	23	0.0	19	35.7	11	22.2	47.8	8.7
22年度	35	52.2	18	△ 5.3	16	45.5	45.7	△ 2.1
23年度	76	117.1	44	144.4	31	93.8	40.8	△ 4.9
24年度	101	32.9	46	4.5	40	29.0	39.6	△ 1.2
25年度	149	47.5	72	56.5	80	100.0	53.7	14.1
26年度	188	26.2	53	△26.4	82	2.5	43.6	△10.1
27年度	249	32.4	80	50.9	102	24.4	41.0	△ 2.6
28年度	297	19.3	117	46.3	107	4.9	36.0	△ 5.0

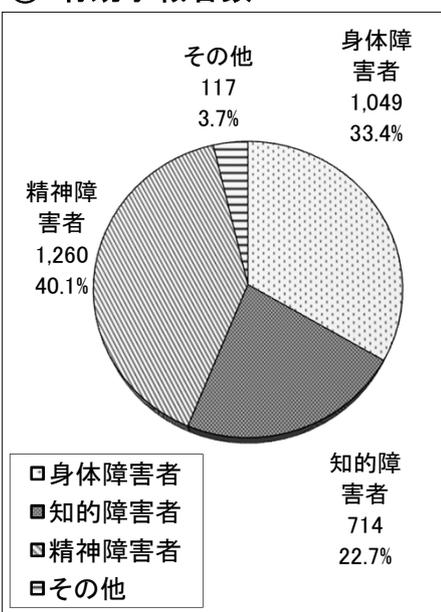
(注) 「その他の障害者」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難治性疾患患者等である。

(5) 就職件数等における障害種別の割合 (平成28年度)

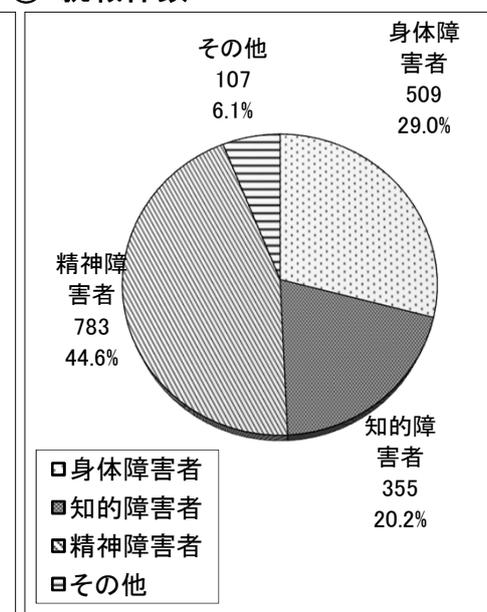
① 新規求職申込件数



② 有効求職者数

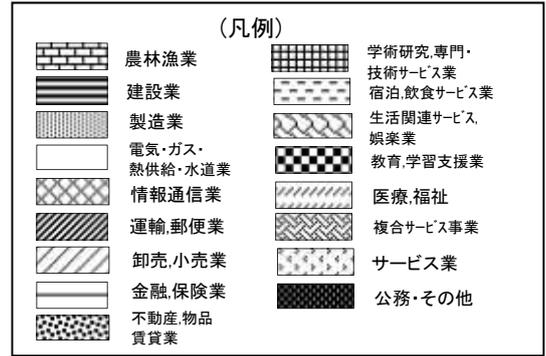
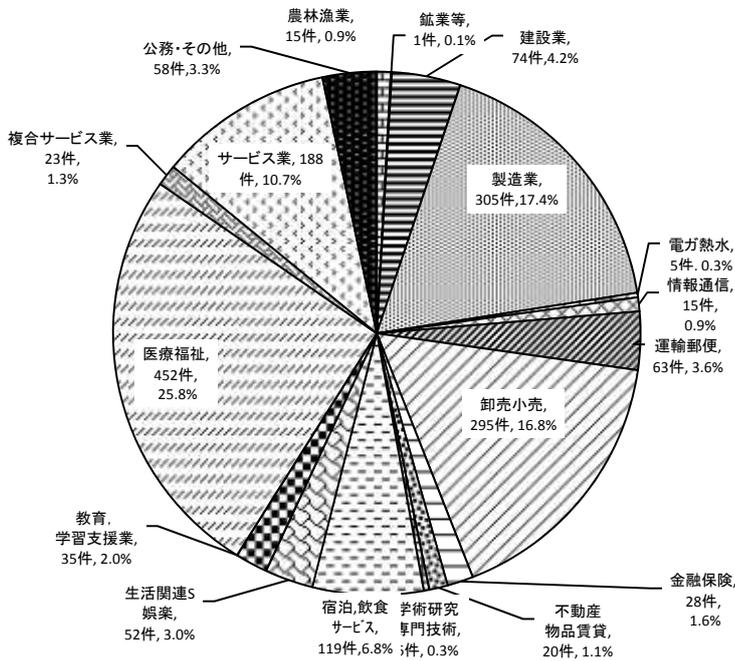


③ 就職件数



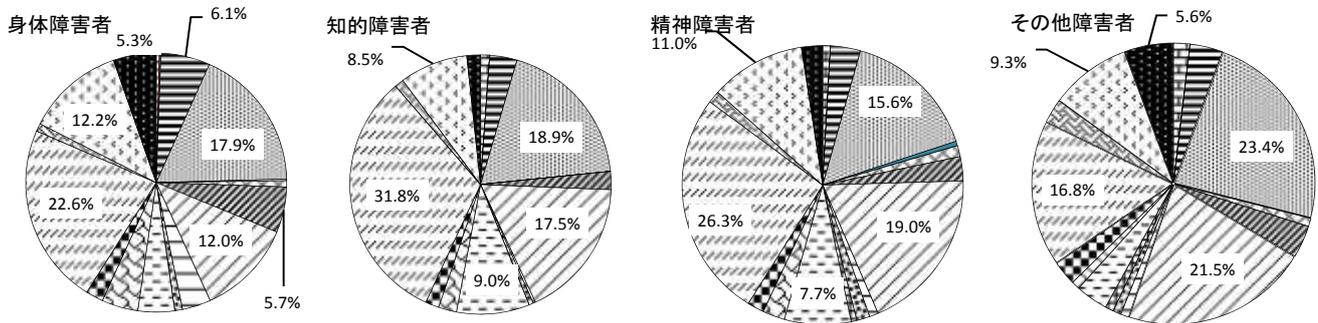
3. 就職先の産業別構成比（平成28年度）

(1) 概況



※ 数値は就職件数及び産業別構成比

(2) 障害種別の状況



※ 数値は産業別構成比(%)。ただし、5%以上の産業についてのみ記載。

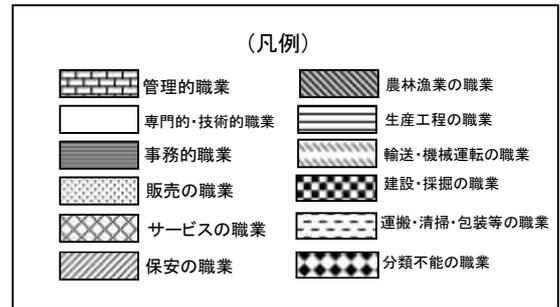
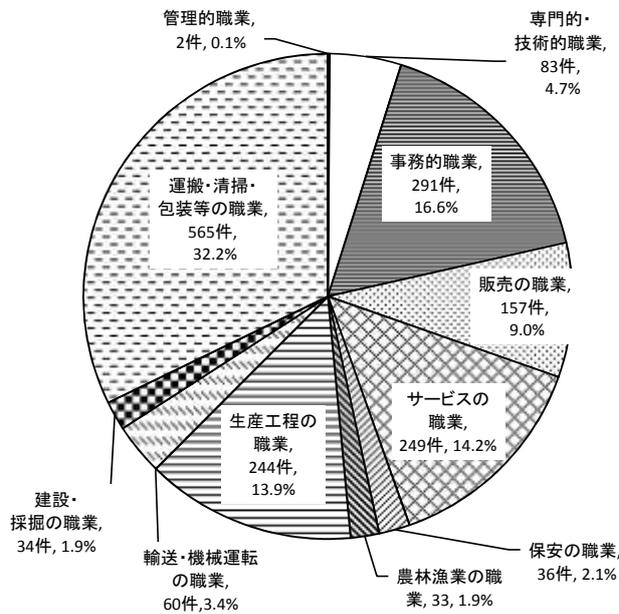
〈産業別にみたときの特徴〉

○産業別では、「医療・福祉」(452件、25.8%)、「製造業」(305件、17.4%)、「卸売業、小売業」(295件、16.8%)における就職件数が多く、障害種別でみた場合もこれら3つの産業への就職件数が多い。

○前年度と件数を比較すると、「製造業」(32件減、-9.5%)が最も減少しているのに対し、「医療・福祉」(56件増、14.1%)、「サービス業」(53件増、39.3%)、「建設業」(15件増、25.4%)の順で増加幅が大きくなっている。

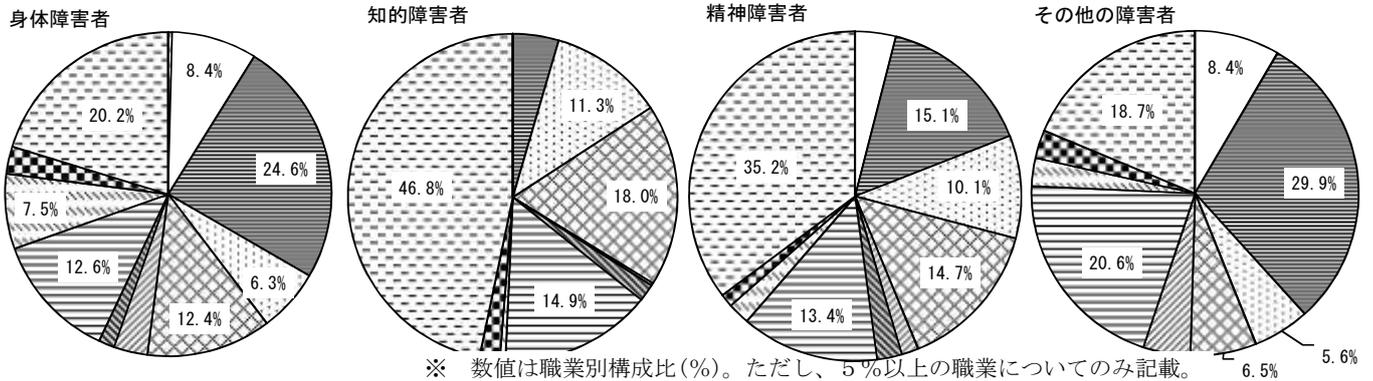
4. 就職先の職業別構成比（平成28年度）

(1) 概況



※ 数値は就職件数及び職業別構成比

(2) 障害種別の状況



〈職業別にみたときの特徴〉

○職業別では、「運搬・清掃・包装等の職業」(565件、32.2%)の割合が大きく、「事務的職業」(291件、16.6%)、「サービスの職業」(249件、14.2%)、「生産工程の職業」(244件、13.9%)、「販売の職業」(157件、9.0%)が続いている。

○職業別を前年度と比較すると、「生産工程の職業」(39件減、13.8%減)、「事務的職業」(9件減、3.0%減)、「農林漁業の職業」(5件減、13.2%減)は減少したが、それ以外の職業は全て増加した。特に、件数で比較すると「運搬・清掃・包装等の職業」(66件増、13.2%増)が大きく増加した。

○障害種別でみると、身体障害者については「事務的職業」(125件、24.6%)の割合が、知的障害者については「運搬・清掃・包装等の職業」(166件、46.8%)の割合が、精神障害者についても同じく「運搬・清掃・包装等の職業」(276件、35.2%)の割合が高い状況となっている。